

# パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2009年5月1日

68号



レダ基地内にある支流岸辺でゴマ刈り入れ作業、すぐ右側には既に支流の水草が迫って来ている。

これがパンタナール農法と  
して、また大  
きな希望が生  
まれました。  
(レダより)

二台分程の収  
穫には中田所  
長も感動して  
いました。

今まで苦労して農場開  
墾をしてきた立場とは  
負けずに立派に育つた。

何もないまま自然のままに放置されてきたが、  
雑草に刈り取りが行われた。再び水の位  
が上がつて来ている。支流岸辺の柔らかい土  
地にゴマの種を蒔き、四ヶ月で見事な収穫の  
時期を迎えた。再び水の位が上がつて来  
たため、水没する前に刈り入れが急がれて  
いた。これが、三月三十日一斉に刈る水の  
幅十m×長さ五十mほ  
どの範囲に実験的に生  
育され、耕しも草取りも一切

ゴマの収穫  
支流岸辺に播いた



収穫したゴマを抱いて大山先生  
(左から二番目)と喜びの労働者たち



これがレダの支流産ゴマ、これを  
干して乾燥し、叩いて実を取り出す。



最近のモリンガの木は二年を経て  
しつかりと幹が太く硬く成長し、  
背丈は高くなり過ぎないよう剪定  
していますが、立派に林が育ち、  
絶えず小鳥たちの憩いの園となっ  
ています。



三月、四月は、グレープフル  
ツ収穫の最盛期です。果樹園、植  
樹園でも育っていますが、  
沢山の木々で豊かな美味しい実  
を成らせています。鳥害にも逢わ  
ないため、その収穫に植樹園担当  
の大滝先生もうれしい悲鳴を上  
げています。



ボラーチョの花

三月から四月上旬がボラーチョの花の美しい季節です。ピンク色の百合の花のような形をしたボラーチョの花は、第一給水塔前に三本並んで順番に咲いています。



**屋根工事進む**  
本部ビル（三階建て）の屋根工事が進んでいます。屋根を載せるための梁を支えるレンガ積み作業から始まって、既に梁と屋根の骨組が取り付け始められた。順調に進展しているため、請負のトマス社長も、「このままけば、工期2か月の予定が少し早く仕上がるのではないか」と語っていた。



大東宏農学博士と伊達氏



三月三十一日、レダの農業研究員、伊達氏とともに筑波に住む大東先生を訪ね、ニームの栽培、ならびにニームを用いての製品化についてお話を伺いました。一週間ほど前にケニアの農業指導から帰ったばかりで、ケニアでは特にニームの普及に力を注いで来られたとのことでした。今まで世界一九か国で特に熱帯果樹の指導に当たり、ブラジルにも三年間滞在していた事もある。現在はニームの樹の可能性に魅了され、奇跡の樹、ニームと題する本を昨年、出版し、普及に努めている。ケニアでは十二の村でニームの植林を行い、ニームを利用しての農業指導をして来たところで、とても参考になつた。



250年前にインドから持ってきた種の樹（ケニア）



ケニアでニームから造られた製品（石鹼、ハンドクリーム、シャンプー）

大東先生が書いた本“世界が注目するニーム、奇跡の樹”が農林統計出版社から昨年6月に出版されました。114ページのコンパクトな本ですが内容は充実しており、実践を下にした貴重な内容で、参考になります。今後、パラグアイにニームの植林をしそれを下に貧しい村に産業が起こせればと南北米福地協会にて推進しています。

# 第九回国際協力青年奉仕隊 参加者募集中！

期間

〇九年八月一五日  
九月十日

活動地域

パラグアイ国  
レダ近郊

活動内容

インディヒナ村  
植林、文化交流、エコツアーア

参加資格

一八歳一一五歳

参加条件

小論文  
(参加の動機及び将来の夢)

応募人数

八名  
十五万円



青年奉仕隊の活動は皆様の支援で  
行われてきました。  
第九回国際協力青年奉仕隊も皆さまの温かい  
支援でなされます。  
左記の口座に本年もよろしく  
お願いします。

本年は一昨年、昨年と行つてきました植  
木村林で活動をレダ近郊のインディヒナの  
木が順調に育ち、村の人々に希望を  
与え温暖化防止にも貢献しております。

郵便口座

一〇一八〇一七七六八〇四七一

代表 柴沼邦彦

支援のお願い

ご家庭に眠っている未使用の切手、はがき、  
印紙などがありましたら事務局に送つてく  
ださい。

## 第八回国際協力青年奉仕隊 参加者 山田和泉

一日一日が充実していて、あつとうまに  
過ぎています。

全てが初めての事ばかりで、今までの自分  
が本当に狭い世界で生きていた事を感じてい  
ます。いろいろなことにチャレンジしてい  
く姿勢、今日、中田先生がおしゃっていた事  
が、自分に必要な事だと思いました。

神様の願いであるから、できないと思うの  
ではなく、できると思ってチャレンジしてい  
く、私がここに来る時にいたい思いと一緒に  
でした。その決意の大きさは、開拓に来られ  
た先生方とは比べ物にならないですが、これ  
からも絶対に忘れてはならない姿勢だと思いま  
した。

レダに着いたとき、あまりの素晴らしさに  
本当に感動しました。そして、先生方のい  
ろいろなお話を聞いているうちに、その背後  
に大きな決意と、多くの苦労があったことも  
知りました。

絶対に私達、青年が相続していかなくては  
いけない神様の願いを大きく感じました。

あとは、やはりエスペランサ村での活動が忘  
れられないものになりました。

地球の裏側に家族がいました。たつた三泊  
四日という期間で、しかも言葉も通じない状  
況で、離れたくないという思いが強く湧いて  
きて、もつと愛したいというよりは、これから  
も距離は離れているけれど、愛していく方  
法があるのではないかと思います。

具体的にはまだ何をしたら良いのか分から  
ないですが、とにかくここでのことを周りの  
人に伝えてゆきたいと思うので、残りの期間  
も1分1秒無駄にしてしまうことなく多くの事を吸  
取していくことを思っています。

第九回国際協力青年奉仕隊への参加希望者は事務局に連絡し、所定の書類を受け取ってください。五月末までに参加希望者の小論文と履歴、そして紹介者の推薦文を添えて事務局に送ってください。

六月十五日に参加者の発表を致します。

ピースライブセミナーの開催案内  
日程 五月四日、五日  
場所 川崎市民プラザ

参加人数が会場の関係で五十名です  
ので 参加希望者は早めに事務局に  
申し込みください。

## 南北米福地開発協会六月度の予定 環境セミナー

六月一十一日 南北米事務局にて  
(費用 一千円資料代含む)

## 南北米福地開発協会 事務局

〒二二二三一〇〇〇一

神奈川県川崎市高津区  
溝口二二一一十五

岩崎ビル四F  
一〇一八〇一七七六八〇四七一

代表 柴沼邦彦

電話

Fax

会費納入

一〇一八

郵便口座

一〇一八

代表

柴沼邦彦

E-MAIL

office@asd-nsa.jp

ホームページ

http://www.asd-nsa.jp